

能代市内水ハザードマップ (悪土川流域)

保存版



(写真提供 能代河川国道事務所)

能代市では、大雨が降った場合に発生する浸水の想定区域と避難場所を明示した『内水ハザードマップ』を作成しました。
内水浸水とは、雨水が河川へスムーズに流れ出なかった場合に地盤が低いところで湛水し被害を受けることをいいます。
想定する雨量は、100年に一度の確率で発生するとされるもので、**24時間総雨量で191.5mm**です。
自分の住んでいる場所などが、どの程度浸水するおそれがあるかを把握し、日ごろから浸水に備えることにより浸水被害の軽減を図るものです。
浸水時の注意等もあわせて載せていますので、いざという時に備え確認しておきましょう。

平成24年3月
能代市総務部総務課 防災危機管理室

水害について

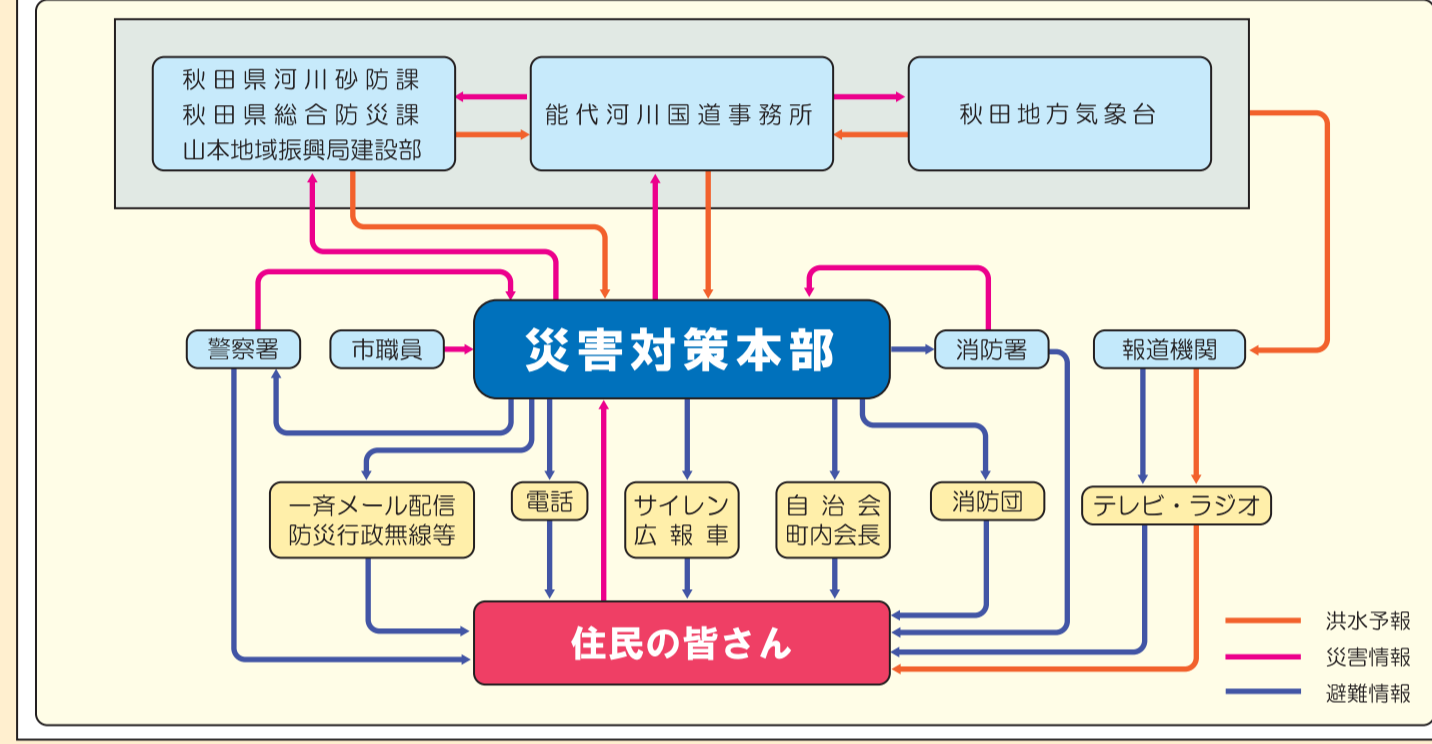
水位の情報		
河川の水位状況などにより、市は避難情報を発表します。住民の皆さんは市から発表される情報をもとに、避難行動をとってください。		
水位の名称と情報の種類	市からの呼びかけの例	みなさんの行動
水防団待機水位 消防団が出勤のために待機する水位		
はん濫注意水位 避難準備情報 の発表の目安となる水位	大雨・洪水警報が発令されています。□□川が浸水していますので、避難の準備をしてください。	避難の準備を整え、ラジオやテレビの情報に注意してください。要保護者の方は避難を開始してください。
避難判断水位 避難勧告 の発令の目安となる水位	□□川が浸水する恐れがありますので避難してください。	家族、近所の方と助け合いながら、速やかに避難を開始してください。要保護者の方は避難を完了してください。
はん濫危険水位 避難指示 の発令の目安となる水位	□□川が溢水する危険があります。直ちに指定の避難所へ避難してください。	危険が迫っています。一刻も早く避難を完了してください。

国土交通省や秋田県のホームページから各水位観測所の水位が確認できます。能代市では各水位観測所の水位状況などを参考に避難情報を発表します。

(-:水位未設定)

水位観測所名	河川名	水防団待機水位	はん濫注意水位	避難判断水位	はん濫危険水位
榊	米代川	2.50m	3.50m	-	-
悪土川	悪土川	2.00m	2.40m	-	-

情報の伝達方法



避難について

避難時の注意事項

- よく知った避難コースを通る。
- 非常持出品は少なくする。
- 消防団や市役所の指示に従って行動する。
- 洪水時や川の水位が高い時は、川に近づかない。
- 火の始末、戸締りを忘れずに!!
- 長靴は歩きにくい。はきなられた底の滑り靴がよい。
- 水中のマンホールや溝に注意!!
- 流水や浸水の中で歩く事のできる深さは男性で70cm、女性で50cm。
- 家族はロープでつながって避難する。(または手をつなぐ)
- 逃げ遅れた時は堅牢な建物の高層階に避難!!

簡易水防工法の例

これらの簡易水防工法は、あくまでも小規模な水害で水深の浅い初期の段階で行うものです。災害に備え各ご家庭でできる、簡易水防工法などの準備や実践をしておくといざという時に役立ちます。また、危険を感じるような場合はただちに避難して下さい。

- 1.簡易水のと段ボール箱による工法**
家庭で使っているごみ袋に水を入れ、土のうの代わりに使用し、段ボール箱に入れ、これを連結して使用します。
- 2.ポリタンクとレジャーシートによる工法**
10リットル又は20リットルのポリタンクに水を入れ、レジャーシートで巻き込み、連結して使用します。
- 3.プランターとレジャーシートによる工法**
土を入れたプランターをレジャーシートで巻き込み使用します。
- 4.臨時の止水板による工法**
長めの板、鉄板、身近にあるボード、テーブル、畳等を用いて水の流入を防ぐことができます。

風水害への備えと防災情報の活用

雨の降り方と災害の危険性

やや強い雨 1時間雨量が10mm~20mm	強い雨 1時間雨量が20mm~30mm	激しい雨 1時間雨量が30mm~50mm	非常に激しい雨 1時間雨量が50mm~80mm	猛烈な雨 1時間雨量が80mm以上
---------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------

大雨に対する事前の備え

- 気象情報に注意**
ラジオ・テレビ・インターネットからの防災情報、気象情報に十分注意しましょう。
- 家財道具の移動**
浸水などの恐れがある場合は、家財道具や食料品、衣類、寝具などの生活用品を高い場所へ移動しましょう。
- 水位情報に注意**
川の水位は暴雨のとき一気に上昇します。日頃からよく観察し、いざという時に備えましょう。過去の浸水被害発生箇所を参考にしましょう。
- 家のまわりの点検**
道路沿いの側溝や雨水まがが詰まると、道路陥没や浸水の原因になります。側溝のゴミや土砂を取り除き、雨水の排水をよくしましょう。近所同士で協力し、特に危険箇所の安全点検は急に行いましょう。
- 水防の準備**
土のうを積んで浸水防止を図りましょう。簡易水防の土のうや止水板も効果的です。近所同士の協力が重要です。
- 避難に関する準備**
非常用持ち出し品や服装を整え、避難の準備をしましょう。特に乳幼児、お年寄り、病気の人は早めの避難を心がけましょう。

防災気象情報

ラジオやテレビのほかインターネットや携帯電話で防災関連情報を見ることができます。

国土交通省「川の防災情報」 http://www.river.go.jp/	秋田県防災気象情報 http://www.akita-bousai.jp/weather/index.html
国土交通省「川の防災情報」携帯電話版 http://r.river.go.jp/	秋田県河川砂防情報システム http://sabo.pref.akita.jp/kasensabo/
国土交通省能代河川国道事務所 http://www.thr.mlit.go.jp/noshiro/index.html	秋田県河川砂防情報システム携帯電話版 http://sabo.pref.akita.jp/kasensabo/mobile/
秋田地方気象台 http://www.jma-net.go.jp/akita/	能代市防災情報 http://www.city.noshiro.akita.jp/

防災メモ

災害用伝言ダイヤル

災害用伝言ダイヤルとは…大地震や大雨などによる大規模な災害が発生した際に、局番なしの「171番」に電話をかけることで、被災地以外の地域から安否の状況を音声で録音・再生することができるサービスです。

録音 Aです。 Bです。 再生
Aです。 Bです。 録音
録音する場合 171+ 被災地の電話番号 録音
再生する場合 171+ 録音

緊急連絡先

種別	施設名称	電話番号
公 共 機 関	能代市役所本庁舎	52-2111
	能代市役所二ツ井町庁舎	73-2111
	能代市向能代地域センター	52-6318
	能代市南地域センター	89-2324
	能代市扇地域センター	58-3100
	能代市榊山地域センター	58-3101
	能代市鶴形地域センター	58-3211
	能代市常盤地域センター	59-2111
	能代市富根出張所	75-2111
	能代河川国道事務所	70-1001
警 察	能代河川国道事務所二ツ井出張所	73-5432
	山本地域振興局建設部	52-6109
	能代警察署	52-4311
	能代駅前交番	52-6734
	西通町交番	52-6834
	南能代警察官駐在所	52-6609
	向能代警察官駐在所	52-6934
	東能代警察官駐在所	58-4110
	二ツ井交番	73-3046
	稲巻警察官駐在所	73-2124
消 防 団	能代消防署	52-3311
	能代消防署東能代出張所	59-3119
	能代消防署向能代出張所	54-3652
	能代消防署西消防出張所	55-0503
二ツ井消防署	73-2327	

避難場所・連絡先

家族が離ればなれになったときの集合場所や連絡方法を決めておきましょう。
*例えば〇〇小学校の正門に集まるなど

避難場所・避難方法	
氏名	電話番号・携帯電話番号
勤務先・部署・学校・学年	メモ(アレルギー・得意業・技術・血液型)

家族・親族等の連絡先及び救急データ

氏名	電話番号	医師機関名	メモ(病名・主治医名等)

家族のかかりつけ病院等の連絡先

氏名	電話番号	医師機関名	メモ(病名・主治医名等)

災害に立ち向かうためには、市などの行政の対応だけでは限界があります。
大規模な災害に備えるために、**自分や家族を守り災害に備える「自助」、**
地域や企業が共同して助け合う「共助」、
行政が市民や事業者の安全を確保する「公助」の三者がお互いに協力し合い、
地域防災力の向上を図り、災害に強いまちづくりを目指しましょう。

「自分や家族を守る」

家族防災会議

災害が起きた時に被害を小さくするには、日頃の備えが大切です。家族防災会議を開いて話しあっておきましょう。

家族の役割分担 家族で日常の防災対策の役割と、災害発生時の役割を決めておきましょう。

家の中や屋外の危険箇所 家の内、外、家具などの危険箇所をチェックし、事前の安全対策をしておきましょう。

家族との連絡方法 災害発生時の連絡方法を決めておきましょう。

避難所 避難経路 家族で避難する場所を確認しておきましょう。避難所までの避難経路を事前に確認しておきましょう。

「お互いに助け合って家族や地域の人達を守る」

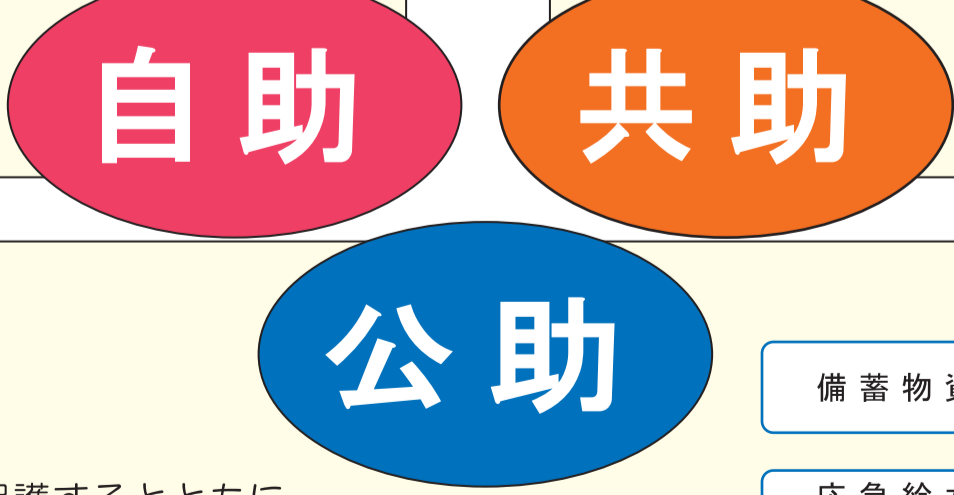
助け合いの仕組みづくり・自主防災組織

災害発生時に、地域住民の安否確認や救出、避難誘導を少しでも早くできるように、事前に地域で話し合い、「助け合いの仕組み」を確立しておきましょう。

地域での話し合い 市役所や消防署等と協力し、「助け合いの仕組みづくり」を地域全体で考え、防災意識を高めましょう。

要保護者の把握 災害発生時に地域において支援が必要な高齢者や障がい者等を把握しましょう。

訓練の実施 災害発生時に、「助け合いの仕組み」がうまく機能するように、日頃から訓練をしましょう。



「行政が市民や事業者の安全を確保する」

避難所対策支援

能代市では、市民の生命、身体及び財産を災害から保護するとともに被害を軽減し、市民の誰もが安全で安心して暮らせる災害に強いまちづくりの推進を目的とし、「能代市地域防災計画」を作成しています。

備蓄物資	食料及び生活必需品等を備蓄し、必要な時、直ちに配備できるよう準備に努める。
応急給水施設	給水車…指定避難場所等に応急給水を行う。
耐震補強	主な避難場所となる市内の小・中学校の校舎や体育館等の耐震化を実施。

排水ポンプ及び過去の内水被害

排水ポンプの運用について

悪土川流域の内水被害を軽減するため、吸水槽、排水ポンプ(1m³/秒×5台)、吐水管等が備え付けられています。
米代川の水位上昇により、悪土川の排水が不能となった場合は、逆流防止のため水門を閉め、吸水槽に湛水させ、排水ポンプにより堤防沿いの吐水管を通し、強制的に米代川に排除し内水被害の軽減を図ります。

平時時や米代川の水位が悪土川の水位より低いときは、水門を全開し、悪土川の水を米代川に流しています。

洪水により米代川の水位が上がり悪土川の水位より高くなると、悪土川に逆流して住宅地などに流れ込み浸水被害が発生する恐れがあるため、水門を閉めます。

しかし、水門を閉めると、悪土川の水の行き場がなくなり、住宅地などに浸水して内水被害が発生するため、排水ポンプにより悪土川の水を強制的に米代川に排水します。

米代川の水位が低くなり、悪土川への逆流がなくなったら、水門を開け、悪土川の水を米代川に流します。

《悪土川救急内水排水施設稼働イメージ》

※ 水門を全開し、排水ポンプを運転している状態において、**米代川の水位が6.11m(計画高水位)を超えてさらに上昇する恐れがある時は、排水ポンプの運転を停止**します。これは、さらに水位が上昇すると、米代川の堤防が決壊する可能性が高くなり、広範囲に甚大な被害が生じることになるため、このような状態のときは、米代川へ内水を排水することはできません。

過去の内水被害

洪水年月	湛水面積	家原被害
昭和47年7月	263.0ha	有(不明)
昭和53年3月	55.3ha	不明
昭和55年4月	45.1ha	有(不明)
昭和57年5月	24.0ha	無し
昭和61年4月	16.0ha	無し
平成2年7月	6.0ha	無し
平成19年9月	44.7ha	床下3戸
平成21年7月	47.1ha	床下1戸 床下22戸

《平成19年9月被害》